

製品名: ATP5A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21352**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:60kD;Observed MW:55kD

抗原情報

遺伝子名	ATP5A1
別名	ATP5A1;ATP5A;ATP5AL2;ATPM;ATP synthase subunit alpha; mitochondrial
遺伝子 ID	498
SwissProt ID	P25705
免疫原	ヒト ATP5A の合成ペプチド

背景

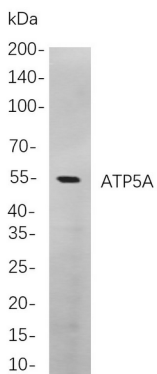
細胞局在: ミトコンドリア。この遺伝子は、ミトコンドリア ATP 合成酵素のサブユニットをコードします。ミトコンドリア ATP 合成

酵素は、酸化的リン酸化反応中に内膜を横切る電気化学的プロトン勾配を利用して ATP 合成を触媒します。ATP 合成酵素は、可溶性触媒コアである F1 と、プロトンチャンネルを構成する膜貫通成分である Fo という、2つの連結した多サブユニット複合体で構成されています。ミトコンドリア ATP 合成酵素の触媒部分は、5つの異なるサブユニット (α 、 β 、 γ 、 δ 、 ϵ) から構成され、 α サブユニット3個、 β サブユニット3個、および他の3つのサブユニットを代表する1個という化学量論で組み立てられています。プロトンチャンネルは3つの主要なサブユニット (a、b、c) で構成されています。この遺伝子は、触媒コアの α サブユニットをコードします。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。この

研究分野

-

画像データ



A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。ATP5A ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。